

広島県森林協会報

題字 正木 完

〒730-0012 広島市中区上八丁堀 8-23 林業ビル5階 (一社) 広島県森林協会 編集責任者 梶保 節男
TEL 082-221-7191 FAX 082-221-7194 E-mail:mori-101@giga.ocn.ne.jp [http:// www.hsk.ecweb.jp/](http://www.hsk.ecweb.jp/)

第46号



林道界谷小峠その2線 (北部農林水産事務所)

目次

一般社団法人広島県森林協会定時総会の開催	2	公益目的支出計画実施報告	10
広島県森林土木建設事業促進協議会通常総会	6	林業・環境緑化写真コンクール作品募集	11
平成28年度林野庁関係第2次補正予算の概要	8	山地災害から地域を守る集い(広島市安佐南区)	12
市町治山林道事業担当職員技術研修会	9		

『 養おう 山の異変に 気付く目を 』

平成27年度山地災害防止標語コンクール最優秀賞(林野庁長官賞) 愛知県岩倉市 脇川一也さん

平成28年度 (一社) 広島県森林協会定時総会の開催

平成28年度定時総会を、7月22日(金)に広島市内のリーガロイヤルホテル広島において、会員多数の出席により盛会裏に開催いたしました。

当日は、会長の藏田東広島市長が開会あいさつで、『一般社団法人として再スタートしてから4年目の決算を迎えた定時総会です。(会員各位、来賓の皆様方への謝辞のあと) 森林・林業・木材産業を取り巻く状況は大変厳しいものがありますが、林業再生への取組みの兆しが見られ、また一昨年の広島市における土砂災害や本年4月の熊本地震など、改めて森林の持つ公益的機能の高度発揮のための森林整備施策が注目されています。国においては「森林・林業の再生プラン」に基づき林業の低コスト化に向けた路網整備の加速化、人材の育成などに加え、木材利用の積極的な推進などの取組みが着実に進められており、広島県におかれましても「2020広島県農林水産業チャレンジプラン」の実現に向けたアクションプログラムを実施されているところです。当森林協会も国、県の森林・林業施策に協力しながら、引き続き、森林整備や災害復旧支援など会員の皆様のお役に立つ形で、各種事業の取組みに力を入れて行きたいと考えています。』と述べられました。

続いて、森林土木事業功労表彰が行なわれ、大崎上島町職員の藤原通伸さんに、藏田会長から表彰状と記念品が授与されました。また、林道維持管理コンクールの表彰では、北広島町の「菅原線」が選ばれ、砂田建設課長に表彰状と記念品が授与されました。

来賓として出席いただいた上仲孝昌農林水産局長(知事代理)様、佐藤一直農林水産委員長(広島県議会議長代理)様、(一社)日本治山治水協会の山田壽夫専務理事様から祝辞をいただき、参議院議員溝手顕正事務所津久井秘書様をはじめ、林業関係団体からの来賓各位のご紹介の後、定款の定めにより藏田会長が議長となり、議事に入りました。

議案として提出された、平成27年度事業報告・収支決算・公益目的支出計画実施の報告、平成28年度会費の賦課基準及び会費の決定等について、会員からの異議は無く原案のとおり承認されました。

今回、2名の理事を除いて役員任期満了に伴う役員改選について、新たな理事に高田大崎上島町長、梶保指定職参事、監事に入山大竹市長の選任が承認され、総会終了後の臨時理事会において、会長には引き続き藏田東広島市長が決定し、副会長、常務理事の役員体制が決定されました。

また、5月の理事会で承認を得た平成28年度事業計画・収支予算について、引き続きこれまでの事業と公益目的事業を効率的に融合させ農山村地域の活性化に努めていくことが報告されました。

最後に、大会決議を小松常務理事が朗読により提案し、満場一致で採択し全ての議事を終了しました。



会長あいさつ 藏田東広島市長



来賓祝辞 上仲農林水産局長



来賓祝辞 佐藤農林水産委員長

森林土木事業功労表彰

治山事業、林道事業及び公園整備事業の円滑な推進について、他の模範となるべき実績のあった市町職員及び森林組合（森林協会会員）の役職員の功績をたたえるために、昭和50年から表彰を行なっているもので、平成28年においては東広島農林事業所長から推薦のあった次の方が、会長表彰されました。

所 属	氏 名
大崎上島町	藤原 通伸



林道維持管理コンクール表彰

森林の整備・利用と山村の活性化に寄与する林道について、維持管理業務の推進と改善を促進し、林道の保全と通行の安全を目的として、維持管理状況の優秀な路線を表彰するもので、平成28年度は広島県西部農林水産事務所長から推薦のあった次の路線が、会長表彰されました。



維持管理の状況
旧芸北町の臥龍山山腹へ
延びる自然豊かな林道

北広島町砂田建設課長



市町名	路線名	開設年度	幅員	延長
北広島町	菅原線	S53～H元	3.6m	4,610m(全舗装)

ご出席いただいたご来賓の皆様(順不同)

広島県農林水産局長

(知事代理) 上仲 孝昌 様

広島県議会 農林水産委員長

(議長代理) 佐藤 一直 様

(一社)日本治水治山協会

専務理事 山田 壽男 様

参議院議員 溝手顕正様

(代理)秘書 津久井 晴記 様

広島県森林組合連合会

専務理事 田端 秀秋 様

広島県林業改良普及協会

会長 津野瀬 武久 様

(一財)広島県森林整備・農業振興財団

理事長 竇来 伸夫 様

広島県樹苗農業協同組合

専務理事 富田 茂生 様

(公社)広島県みどり推進機構

事務局長 吉野 栄作 様

このほか広島県関係部・課長に出席頂きました。

1 平成27年度決算 (単位: 千円)

会計区分	実施事業等(公益)	その他(受託)	その他(共益)	法人	計
経常収益	0	88,574	8,001	0	96,575
事業費支出	30,467	97,226	3,728	0	131,421
管理費支出	0	0	0	1,210	1,210
経常費用計	30,467	97,226	3,728	1,210	132,631
当期経常増減額	30,467	8,652	4,273	1,210	36,056
経常外収益	0	0	0	0	0
経常外費用	0	0	0	0	0
経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額	30,238	7,238	24,124	1,124	0
当期一般正味財産増減額	229	15,891	19,850	86	36,056
当期一般正味財産期首残高					399,596
当期一般正味財産期末残高					363,540

2 平成28年度予算 (単位: 千円)

会計区分	実施事業等(公益)	その他(受託)	その他(共益)	法人	計
経常収益	0	104,460	7,580	0	112,040
事業費支出	8,835	119,841	7,580	0	136,256
管理費支出	0	0	0	1,910	1,910
経常費用計	8,835	119,841	7,580	1,910	138,166
当期経常増減額	8,835	15,381	0	1,910	26,126
経常外収益	0	0	0	0	0
経常外費用	0	0	0	0	0
経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額					26,126
当期一般正味財産期首残高					363,540
当期一般正味財産期末残高					337,414

3 参考

(1) 会費収入の状況 (単位: 千円)

年度	普通会費	治山事業特別会費	林道事業特別会費	合計
23	240	5,257	3,519	9,016
24	240	4,637	3,337	8,214
25	240	4,006	3,241	7,487
26	240	6,060	3,826	10,126
27	240	4,579	2,832	7,651
28(計画)	240	4,407	2,609	7,256

(2) 受託事業の状況 (単位: 千円)

年度	治山事業	林道事業	その他	合計
23	38,152	52,515	14,836	105,503
24	29,023	104,494	6,760	140,277
25	34,268	70,922	7,186	112,376
26	56,179	52,100	4,819	113,098
27	45,673	33,730	8,747	88,150
28(計画)	28,400	67,800	7,700	103,900

一般社団法人 広島県森林協会役員名簿 平成28年7月22日総会・理事会選任

会長理事	東広島市長	藏田 義雄	理事	三次市長	増田 和俊
副会長理事	坂 町 長	吉田 隆行	理事(新)	大崎上島町長	高田 幸典
副会長理事	安芸高田市長	浜田 一義	監事	安芸太田町長	小坂 眞治
副会長理事	庄原市長	木山 耕三	監事(新)	大竹市長	入山 欣郎
常務理事(新)	学識経験	梶保 節男			

決 議

平成28年4月に発生した熊本地震は、未曾有の被害をもたらした。復旧・復興に向けて懸命の取り組みが行われているが、改めて各地域における減災への努力も問われている。

特に、近年における山地災害の激甚化により、森林の防災機能に関心が寄せられているが、過疎化・高齢化が進む山村地域では、森林整備の遅れによる森林機能の低下が生活基盤の脆弱化につながることも心配されている。

森林は、地球温暖化の防止や水源かんよう等多様な機能を果し、「緑の社会資本」として国民生活の安定・安心に欠かすことができないものである。

このような中、国においては、平成21年に策定された「森林・林業再生プラン」を具現化するため、平成22年に「森林・林業の再生に向けた改革の姿」がまとめられ、10年後の木材自給率50%以上を目指した改革の方向に基づき、様々な取り組みが開始されている。

さらに、大規模災害を二度と繰り返さないよう、平成25年末には「国土強靱化基本法」が成立し、防災対策や災害に強い森林づくりへの機運が高まっている。

県においても、林業の構造改革が推進され、「2020広島県農林水産業チャレンジプラン」やアクションプログラムにもとづき、県産材の効率的で安定的な供給体制の確立に特化した施策が展開されるとともに、「ひろしまの森づくり県民税」を活用し、県民全体で森林を守り育てる事業が推進されている。

しかし、森林整備の推進、豊富な資源を活用した山村再生、地域の安全・安心の確保に向けた治山対策などの取り組みを一層進めるためには、必要な財源・予算の確保が図られなければならない。

そこで、安全や環境に貢献できる森林の整備と保全のため、次の施策を強力に推進するよう国・県当局に強く要望する。

- 1 森林の機能を持続的に発揮させるための整備と保全の充実
- 1 安全・安心の確保に向けた治山対策の推進
- 1 木質バイオマス等地域資源を活用する産業の再生や、都市との交流による定住促進など山村の活性化
- 1 県産材の自給率を高める木材利用の推進
- 1 「ひろしまの森づくり県民税」等を活用した県民参加の森林づくりの推進

以上決議する。

平成28年7月22日

一般社団法人広島県森林協会平成28年度定時総会

第33回 広島県森林土木建設事業促進協議会通常総会

第33回通常総会は、7月5日(火)広島市内の広島パシフィックホテルに、会員及び県内各地区の代議員が出席して開催されました。

総会では、はじめに佐々木会長が、『土砂災害や大雨などの近年の自然災害は想定を大きく超える被害が発生している。森林整備の重要性と災害を未然に防ぐ森林土木事業の充実を推進する必要がある。平成28年度広島県農林水産局の森林整備・治山事業等の公共事業関連予算は、49億7千万円、環境県民局の自然公園整備等関係予算は2億2千万円が確保されました。事業実施には会員の優れた技術と経験を発揮し、行政や地域の期待に応えて欲しい。日頃の皆様のご努力に対し敬意を表するとともに、引き続きご研鑽・ご協力をお願い致します。』とあいさつされました。

次に、施工技術の向上を図ることを目的として実施している「森林土木工事コンクール」の平成27年度完成の優秀工事の表彰を行い、次の3者に表彰状と記念品が授与されました。

続いて、広島県林業課長 高木孝夫様、(一社)全国森林土木建設業協会専務理事 高畑博之様からご祝辞があり、この後議事に入り、提出された第1号から第3号議案は、いずれも原案のとおり承認されました。このあと、広島県農林整備管理課牧野主査、村上主任から、「建設工事入札・契約制度の改正について」の説明を受け総会は終了しました。



写真(左) 佐々木会長あいさつ

写真(右) 受賞者



復旧治山事業(庄原市東城町川西)
有限会社 宮田工務店

復旧治山事業(庄原市濁川町下組山)
株式会社ヒノデ開発福山営業所

界谷小峠その2線(庄原市比和町)
株式会社 角栄組

ご出席いただいたご来賓の皆様(順不同)

広島県 林業課長	高木 孝夫 様	森林保全課治山担当監	佐藤 親夫 様
(一社)全国森林土木建設業協会		自然環境課長	神川 勇人 様
専務理事	高畑 博之 様	農林整備管理課技術管理GL 主査	牧野 功 様

1 平成27年度収支決算(単位:円)

(1) 収入の部

科 目	決算額
会 費	2,100,000
事業費(助成金)	150,000
雑収入	123,823
研修受講料	0
繰越金	192,477
計	2,566,300

(2) 支出の部

科 目	決算額
会議費	170,062
事業費	1,547,303
事務費	608,300
研修開催費	0
諸雑費	15,000
計	2,340,665

2 平成28年度予算 普通会計(単位:円)

(1) 収入の部

科 目	予算額
会 費	2,070,000
事業費(助成金)	50,000
雑収入	108,365
研修受講料	90,000
繰越金	225,635
経営安定基金取崩し収入	0
計	2,544,000

(2) 支出の部

科 目	予算額
会議費	200,000
事業費	1,600,000
事務費	624,000
研修開催費	90,000
諸雑費	30,000
予備費	0
計	2,544,000

3 平成28年度予算 経営安定基金会計(単位:円)

区 分	予 算 額	備 考
前年度までの額	2,000,000	18年度から積立
一般会計への繰り入れ	0	
基金差額	2,000,000	

平成28年度広島県森林土木建設事業促進協議会役員

平成28年 7月 5日現在

会 長	広島県森林組合連合会 佐々木 徹	代議員	広島地区	沼 田 聖
		代議員	呉地区	岡 本 弘之
副会長	広島県建設業協会連合会会長 後藤文好	代議員	芸北地区	斉藤哲也
		代議員	東広島地区	近光一巳
監 事	(一社)広島県造園建設業協会会長 正本大	代議員	尾三地区	三鼓勝美
		代議員	福山地区	後藤文好
監 事	広島地区代議員 沼田聖	代議員	三次地区	加藤修司
		代議員	庄原地区	笹尾進

平 成 2 8 年 度 林 野 庁 関 係 第 2 次 補 正 予 算 の 概 要

平 成 2 8 年 8 月 2 4 日 に 閣 議 決 定 し た 国 の 第 2 次 補 正 予 算 で は、「 農 林 水 産 業 ・ 地 域 の 活 力 創 造 プ ラ ン 」 に 基 づ く 施 策 の 着 実 な 実 施 や 「 防 災 ・ 減 災 対 策 の 加 速 」 の 推 進 対 策 と し て、 森 林 整 備 事 業 ・ 治 山 事 業 ・ 山 林 施 設 災 害 復 旧 事 業 な ど が 盛 り 込 ま れ、 林 野 庁 関 係 で 約 1, 0 2 2 億 円 が 追 加 さ れ て い ま す。

1 林 野 庁 関 係 補 正 予 算 1, 0 2 2 億 円 (前 年 度 補 正 5 9 2 億 円) (単 位 : 百 万 円)

項 目	補 正 追 加 額		
	公 共	非 公 共	合 計
森林整備事業・治山事業	41,000		41,000
森林整備事業	31,000		31,000
治山事業	10,000		10,000
災害復旧等事業のうち			
山林施設災害復旧等事業	25,286		25,286
CLT利用促進総合対策()		1,000	1,000
合板・製材生産性強化対策		33,000	33,000
「クリーンウッド」利用推進事業		150	150
シカによる森林被害緊急対策事業		100	100
地域材利用拡大緊急対策事業		500	500
熊本地震木材加工流通施設復旧対策事業		160	160
国立研究開発法人			
森林総合研究所災害復旧事業		1,050	1,050
計	66,286	35,960	102,246

() 1,000 百万円のほか合板・製材生産性強化対策で実施(33,000 百万円の内数)

(注) 計数は、四捨五入のため合計とは一致しない場合がある。

(1) 林 業 の 成 長 産 業 化

森林整備事業<公共>

3 1 0 億 円

国産材の安定供給対策を構築するとともに地球温暖化を防止するため、間伐等の森林施業や路網の整備を推進

地域材利用拡大緊急対策事業

5 億 円

住宅分野等における地域材の利用促進や新たな製品・技術の開発・普及の加速化、ICTを活用した木材の効率的な輸送モデルの構築等を支援

(2) 防 災 ・ 安 全 対 策 の 加 速

治山事業(公共)

1 0 0 億 円

全国の活断層周辺や山地災害危険地区等において荒廃山地の復旧や予防治山対策等を推進
治山施設の機能を将来にわたって発揮するための老朽化対策の推進

山林施設災害復旧等事業 災害復旧等事業(公共)の内数

2 5 3 億 円

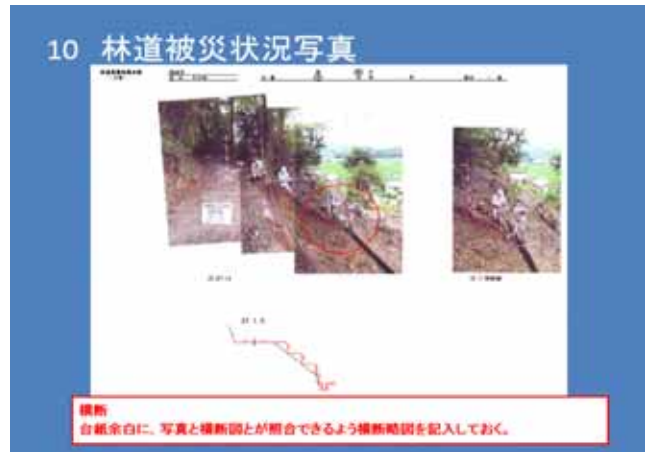
大雨等の被害に係る農地・林道・漁港等の災害復旧等事業を早期に実施

平成28年度 市町治山林道事業担当職員技術研修会

市町職員の森林土木技術の習得と技術の向上を図るため、市町治山林道事業担当職員技術研修会を、広島県林業課・森林保全課の協力を得て開催しました。

梅雨時期の天候が気になるころではありましたが、6月21(火)・22日(水)の2日間、広島パシフィックホテル会議室を会場として、室内での講義を実施しました。

参加者は、県内の14市町から26名、広島県及び森林協会からも12名が参加して、1日目は「治山事業の概要、治山林道事業の設計積算業務及び保安林林地開発許可業務の概要」についての講義、2日目は「林道事業の概要及び林道施設災害復旧事業」について講義が行われました。



(小規模崩壊地復旧事業の計画より)

(林道施設災害復旧事業の資料より)

(講師を務めていただいた方)

農林水産局	林業課	林業基盤グループ	事業調整員	宗元 康浩	様
	〃	〃	技 師	中岡 広子	様
農林水産局	森林保全課	治山グループ	主 任	岩生 真太郎	様
	〃	保安林グループ	事業調整員	川本 政和	様
農林水産局	農林整備管理課	技術管理グループ	主 任	渡邊 憲二	様
	〃	〃	主 任	梅木 孝法	様

「公益目的支出計画」の実施状況について

平成24年6月に一般社団法人に移行して以降、公益目的支出計画で認定された事業を計画的に実施し、大きな成果をあげてきていますが、これまでの事業の評価と見直しを行い、会員である市町及び広く県民のために貢献できる適切な事業を展開していくこととしています。

公益支出計画実施報告書（平成27年度 一般社団法人 広島県森林協会）

平成27年度（27年6月1日から28年5月31日まで）全体

1 公益目的財産額	412,229,186
2 当該事業年度の公益目的収支差額	105,256,040
(1)前事業年度末日の公益目的収支差額	74,788,771
(2)当該事業年度の公益目的支出額	30,467,269
(3)当該事業年度の実施事業収入の額	0
3 当該事業年度末日の公益目的財産残額	306,973,146

公益目的支出計画の状況 ・ 計画上の完了見込み 平成40年5月31日（計画のとおり）

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	412,229,186	412,229,186	412,229,186	412,229,186	412,229,186
公益目的収支差額	78,378,660	74,788,771	104,504,880	105,256,040	130,631,100
公益目的支出の額	26,126,220	26,138,580	26,126,220	25,617,195	26,126,220
実施事業収入の額	0	0	0	0	0
公益目的財産残額	333,850,526	337,440,415	307,724,306	306,973,146	281,598,086

○ 公1（森林林業に関する指導者育成事業）

- ア 森林・林業に関する指導者育成研修会 2会場 延べ17名参加
- イ 森林づくりリーダー養成研修会 6日間、3会場で開催 8名参加

○ 公2（治山・林道施設等の調査事業及び自主防災組織育成事業）

- ア 山地災害から地域を守る集い 平成27年6月21日（日）安芸高田市、150名
- イ 自主防災組織育成支援事業 41団体を採択し助成金を交付
- ウ 治山・林道施設の点検調査 治山施設136箇所、林道施設45箇所の調査

○ 継1（県民参加の森林づくりに関する普及啓発事業）

- ア 「ひろしまの林業」共同発行 広島県林業改良普及協会、県森連と共同、2,230部発行
- イ 林業・環境緑化写真コンクールの開催
- ウ 林業普及図書の配布 公民館等344施設に普及図書等を配布
- エ みどりの集いの開催 4月29日、広島県緑化センター 4,900人参加

○ 継2（治山・林道等に関する技術研修事業）

- ア 市町治山・林道担当職員技術研修会 37名参加
- イ 測量学研修 17名参加
- ウ 森林・林業業務市町新任者基礎研修会 19名参加
- エ 広島県林務・自然公園関係予算説明会 20名参加

平成 28 年度
 林業・環境緑化写真コンクール作品募集

森林・林業・環境緑化をテーマにした写真を募集します。

■ 主 催

(公社)広島県みどり推進機構
 (一社)広島県森林協会
 広島県林業改良普及協会

平成27年度主な入選作品



伐採作業 (入選)



親子木工教室 (特選)



苗畑研修 (特選)



木材記念市 (入選)



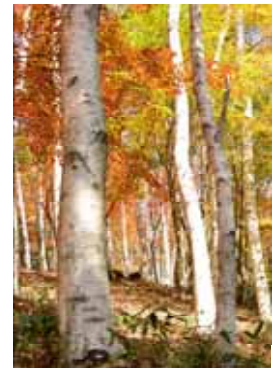
せどやま教室 (入選)



梅雨の彩り (入選)



ぼくと同じ (入選)



錦秋の里山 (佳作)

締め切り 平成29年1月31日

■ 題 材 県内の林業作業風景、林相、山村の民家、木造建築、木材加工などを対象としたもの。学校、工場、広場などの環境緑化のための植樹作業風景又は、森林レクリエーション施設などの利用風景などを対象としたもの。

■ サイズ 2 L版 (12.7cm x 17.8cm)
 カラー、縦位置可

■ 作 品 未発表の作品に限ります。
 応募票様式に住所、氏名、撮影年月日、場所、題(タイトル)と簡単な説明を明記(応募票)し、添付してください。出品点数は特に制限はありません。

■ 応募資格 広島県在住者であること。
 職業写真家でないこと。

■ 賞および賞品
 特選 2点 (賞金2万円)
 入選 10点 (賞金5千円)
 佳作 若干 (賞金3千円)

■ 入選発表 結果は、平成29年4月上旬(予定)に広島県林業改良普及協会発行の「ひろしまの林業」誌上で発表します。

■ その他 入選作品は、平成29年度「ひろしまの林業」の表紙に使用するほか、県民の緑化意識の啓発、高揚を図るため、林業、環境緑化関係の広報資料として使用します。
 応募作品の著作権は広島県林業改良普及協会に帰属し、応募作品は返却しません。
 入賞作品は、ネガ又はデータを提出していただきます。

■ 様 式

平成28年度林業・環境緑化写真
 コンクール応募票

住 所	
氏 名	
撮影年月日	
撮 影 場 所	
主 題	
説明・その他	

■ お問い合わせ・送り先

〒730-8511
 広島市中区基町 10-52
 広島県農林水産局森林保全課内
 広島県林業改良普及協会
 「ひろしまの林業」担当：岡部
 TEL082-513-4840
 FAX082-223-3583
 E-mail:hirorin@green-hirosima.or.jp
 「ひろしまの林業」は、年間購読料
 2,000 円で毎月号をお届けします。
 (送料負担なし)

平成28年度 山地災害から地域を守る集い

山地災害から学ぶ危機管理のあり方

近年、地震や局地的な豪雨により、山崩れ、土石流、地すべりなどの山地災害が発生し、尊い人命や財産が失われるなど多大な被害が発生していることから、山地災害に関する県民の理解と関心を一層深めることが必要となっています。

そこで、これまでに発生した山地災害の分析等から、災害に関する知識を習得し、地域が一体となった危機管理体制を構築することを目的として、次のとおり「山地災害から地域を守る集い」を開催します。



日時
会場

平成28年 **10月29日(土)** 13:30~15:30 (開場13:00)

広島市安佐南区民文化センター ホール

広島市安佐南区中筋1-22-17
電話(082)879-3060

入場無料 (事前申込み不要)

記念品(防災グッズ)を用意

森林分野CPD対象講習



13:30	開会	主催者あいさつ (一社)広島県森林協会 常務理事 梶保 節男 広島市安佐南区 区長 谷山 勝彦
13:40	講演	「待ったなしの地域防災～知っておくべき教訓と行動」 講師 広島経済大学 経済学部 教授 松井 一洋 様 全国で実施されている「防災士養成研修」の講師を委嘱され、現在までに約1万人の防災士に「災害情報と災害報道」や「災害心理」を中心に講義。2012年から、広島県自主防災組織活性化プロジェクトのトータルアドバイザーとして、県内自治体の防災リーダー研修等で多くの講演活動。
15:10	取組発表	広島県の防災・減災対策 広島県森林保全課治山グループ 主任 岩生 真太郎
15:30(予定)	閉会	



主催 一般社団法人広島県森林協会
広島市安佐南区

後援 広島県
株式会社 毎月々

事務局 電話(082)221-7191
地域起こし推進課 電話(082)831-4926
森林保全課 電話(082)513-3706
電話(082)420-8512



「広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動」実施中!

「災害死ゼロ」を目指し、減災に取り組みましょう!

「復興! がんばろう 安佐南」